

# 4月21日の降雪と 今後の低温に伴う農作物の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

4月21日の降雪により農作物被害が発生した場合は、**事後対策の徹底**をお願いします。  
なお、平成25年4月22日に福島地方気象台より会津地方に強い霜情報が出されました。  
また、平成25年4月19日仙台管区気象台発表の「東北地方1か月予報」によると、向こう  
1か月（4月20日～5月19日）の平均気温は平年並みまたは低い確率がともに40%、週別の  
気温は1週目（4月20日～4月26日）は低い確率が60%と予想されていることから、農作物  
の管理には十分注意してください。

さらに、**凍霜害対策等として農業用被覆資材（べたがけ資材、ビニルやマルチ等）を使用する場合は、原発事故時に使用していたり、屋外で保管していたものは使用しないでください（全作物共通）。**

## 【水 稲】

ハウスの破損等の被害があった場合には、ハウスの修復または別の育苗場所の確保に努めてください。育苗環境が0℃前後におかれた場合は、生理障害や病害が発生しやすい状態となっていると考えられますので、今後の温度管理と水管理の徹底に努めてください。

### 1 今後の技術対策

#### (1) 移植栽培

##### ア 共通事項

育苗初期（1.5葉期頃）に低温（概ね5℃以下）に遭遇した場合、過湿や過乾燥などを繰り返すと苗立枯病やムレ苗になりやすいので、以下の点に留意してください。

(ア) 低温が予想される場合は育苗環境に合わせた保温に努めます。

(イ) 育苗期間中は28℃以上（※）の高温にならないよう日中の換気に努めます。

（※28℃以上の高温条件では**籾枯細菌病**が発生しやすい。）

##### イ 無加温出芽の場合の留意点

無加温出芽では低温により出芽揃いまでの期間が長引き、管理不良による生理障害や病害発生の危険性が高まりますので、以下の点に留意してください。

(ア) 出芽が揃うまでは保温管理を徹底します。

(イ) 高温（30℃以上）時には日中の換気に努めること。

#### (2) 湛水直播栽培

(ア) 播種早限（平均気温が11.5℃を超える日）を厳守し、今後の気象情報を確認して播種時期を決定するなど、計画的に播種作業を進めてください。

(イ) 播種後は基本技術に従い、着実な出芽苗立ちの確保に努めてください。

## 【野 菜】

ハウスが破損した場合は、速やかに補修及び補強を行い、内トンネルやべたがけ等で被覆するなどの**保温対策**をして、作物を保護してください。

## 1 今後の技術対策

### (1) 共通対策

ア 無加温ハウス内では、早めにカーテン、小トンネル、保温マット等で被覆したり、補助暖房器具を準備し夜温確保に努めましょう。ストーブ等補助暖房器具を燃焼させた場合には、換気をしてからハウス内に入るようにしましょう。

イ 露地栽培では無理な早播き・植付けは行わないようにしましょう。既に植付けした場合は、トンネルやベタがけにより保温に努めましょう。

### (2) 品目別対策

ア キュウリやサヤインゲンは凍霜害を受けやすいので、露地栽培では降霜の心配がなくなってから定植するように計画的に播種してください。

イ トマトは低温により窓開き果や傷果等が発生しやすいので、育苗時の最低気温は、12℃程度を確保してください。

ウ ピーマン、ナス等の露地栽培は、気温や地温が十分確保されてから定植してください。

エ バレイショは、土寄せを行って被害を防止してください。

オ 露地アスパラガスでは、凍霜害が心配される場合は事前に収穫を行ってください。

## 【果 樹】

現在の果樹の生育は、もも、なし、おうとう等は開花期、りんごは花蕾露出期～花蕾着色（赤色）期に入っています。

降雪による被害が発生した場合は、事後対策を徹底してください。また、今後も引き続き低温への注意が必要なので、気象情報に注意するとともに、人工受粉等による結実確保対策と防霜対策の徹底を図りましょう。

## 1 今後の技術対策

### (1) 結実確保対策

もも、なし、おうとう等は現在開花期を迎えており、開花期の低温や降雪で受粉・受精が阻害され、結実不良となるおそれがありますので、人工受粉を徹底し、結実確保を図りましょう（今回の降雪直前に人工受粉が終了している場合でも、天候が回復し次第、再度実施する）。

また、本年度の摘果は、結実状況やサビ果の発生状況等をよく確認した上で丁寧に実施しましょう。

### (2) 凍霜害対策

本年はすでに凍霜害の被害が発生している地域もあります。まだまだ凍霜害の危険性が高い時期ですので、防霜資材の準備を行い、防霜対策を徹底しましょう。

日中の地温上昇を促すため、下草は低く刈り込みましょう。空気や土壌が乾燥していると気温が低下しやすいため、乾燥が続いている場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を維持しましょう。

凍霜害の被害がみられる場合は、被害状況を確認のうえ、人工受粉を徹底し結実を確保しましょう。また、凍霜害を受けた花から人工受粉用の花粉を採取する場合は、発芽率を確認して利用しましょう。

## 作物別凍霜害等気象災害防止対策

農業振興課・農林地再生対策室ホームページに掲載していますので、御活用ください。

URL : [http://wwwcms.pref.fukushima.jp/download/1/tousougai\\_taisaku\\_h250328.pdf](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/download/1/tousougai_taisaku_h250328.pdf)

## 果樹の現在の生育ステージ

農業振興課・農林地再生対策室ホームページに、農業総合センター（本部、果樹研究所、会津地域研究所、農業短期大学校）の生育状況を掲載していますので、参考にしてください。

URL : [http://wwwcms.pref.fukushima.jp/download/1/stage\\_h250404.pdf](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/download/1/stage_h250404.pdf)

## 【花 き】

### 1 今後の技術対策

ハウス栽培では低温条件が続くと軟弱徒長や灰色かび病等の感受性が高まります。適宜、暖房機等による保温を行うと共に、必要に応じて薬剤散布を実施しましょう。

露地栽培においては地温が十分に確保できていない場合には、発芽や活着が不良になりやすいため、不織布等によるべたがけやトンネル被覆による保温に努めてください。また低温条件下での播種や定植は避けるようにしましょう。

## 【飼料作物】

### 1 今後の技術対策

飼料用トウモロコシ類は播種期を迎えます。発芽後の霜害を避けるため、遅霜の心配の少ない5月上中旬を目安に播種を行ってください。4月下旬に早播きする場合は、覆土をやや厚め（4～5 cm深）にしてください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024 (521) 7339  
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください)

URL : [http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/PortalServlet?DISPLAY\\_ID=DIRECT&NEXT\\_DISPLAY\\_ID=U000004&CONTENTS\\_ID=22752#gi\\_jyutsu\\_jyhou](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=22752#gi_jyutsu_jyhou)

モバイル版 QRコード

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報

(右欄に掲載のQRコードよりご覧ください)

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング  
情報、イベント情報等をご覧ください。

URL : <http://www.new-fukushima.jp/>

